

科目名		一級環境設備				
担当教員		佐藤 静		実務授業の有無	有	
対象学科		一級建築士専攻科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択		必修	授業形式	演習	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方		環境設備は、一般的に「計画原論（環境工学）」・「建築設備」に大別される。計画原論は、建築物を取り巻く外部環境としての自然気象や都市気候について、また人体の生理におかかわる室内環境について学ぶ。				
学習目標（到達目標）		一級建築士学科試験「環境設備」において、１６点（２０点中）以上の取得を目指す。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		1級建築士講座テキスト（総合資格学院） 1級建築士問題集（総合資格学院）				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	日照・日射			方法：講義形式としその内容を解説する。 準備学習：教科書の予習と復習		
2	採光・照明			方法：講義形式としその内容を解説する。 準備学習：教科書の予習と復習		
3	色彩			方法：講義形式としその内容を解説する。 準備学習：教科書の予習と復習		
4	室内気候と気象			方法：講義形式としその内容を解説する。 準備学習：教科書の予習と復習		
5	換気			方法：講義形式としその内容を解説する。 準備学習：教科書の予習と復習		
6	熱・結露			方法：講義形式としその内容を解説する。 準備学習：教科書の予習と復習		
7	音響			方法：講義形式としその内容を解説する。 準備学習：教科書の予習と復習		
8						
9						
10						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
期末考査	取組姿勢			環境設備において給排水衛生設備、空調設備、電気設備、防火・防災設備などは学生にとって比較的苦手な分野となっている。苦手意識を拭い去ることを望む。		
80 %	20 %	90 %	10 %			
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴		佐藤 静：一級建築士として、住宅設計に10年携わってきた。				